



第二ぎんなん便り

熊本市手をつなぐ育成会

第二ぎんなん作業所

令和5年5月25日

第444号

ここは何をすところですか？

作業所の前に立っていると、時々前の道を歩いている人に、「ここは何をする所ですか？」と聞かれることがあります。確かに作業所の前には、「第二ぎんなん作業所」と書いた看板があるだけで、外から見ると何をする所かよくわからないようです。



そこで、Q&A形式で、第二ぎんなん作業所の様子を少し説明したいと思います。

Q. 第二ぎんなん作業所とはどんな所？

A. 知的に障がいのある人たちが地域で暮らすことをめざして、熊本市手をつなぐ育成会が昭和59年に立ち上げた作業所です。

現在は、障害者就労継続支援B型事業所として、熊本市の文書集配、リサイクル作業、農作業や受託作業等を通して、利用者の豊かで充実した生活づくりを支援しています。

Q. 就労継続支援B型事業所とは？

A. 今就労継続支援B型とは、通常の事業所に雇用されることが困難であり、雇用契約に基づく就労が困難である方に対して、就労の機会や生産活動等の機会の提供、また、その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練・支援を行う事業所になります。

第二ぎんなん作業所では、利用者さんの体の状態や特性に合わせて仕事をしてもらっています。

Q. 就労継続支援A型とB型の違いは？

A. 就労継続支援A型は雇用契約しなければいけません。勤務時間や日数について、利用者の方の体調や症状にあわせて臨機応変に調整することができるのが、B型事業所の特徴です。B型事業所では、働いた分を工賃としてお支払いしています。

Q. 第一ぎんなん作業所はどこにあるの？

A. 「第一ぎんなん作業所」という所はありません。今の「第二ぎんなん作業所」の前身である「ぎんなん作業所」は昭和52年に開所しました。その後一時閉所しましたが、昭和59年に大江渡鹿の地でまた再開しました。その時に名前を「ぎんなん作業所」から「第二ぎんなん作業所」と改めました。平成元年、現在の新屋敷に移転しましたが、そのまま「第二ぎんなん作業所」という名で続けています。「第二」というのは「二代目」という感じでしょうか。

作業場に大型換気扇の設置

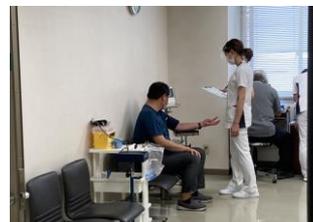
4月6日(木)の令和5年度第1回家族会懇談会の席で、作業場の暑さについて話題になりました。この暑さ対策については昨年度からいろいろな方法を調査・検討し、各専門の方にも相談してきました。

今回、家族会に援助してもらって大型の換気扇を壁面上方に取り付けてもらうことになりました。建物の上の方に溜まりがちな熱気を外に出すという方法です。設置は家族会の玉城さんに5月初頭から行ってもらっています。熊本パイロットクラブや育成会の西会長からも寄付を頂いていますので、さらに西日を防ぐ寒冷紗などの設置も検討していく予定です。



健康診断をしました

5月11日に吉田病院で健康診断を行いました。毎日、気持ちよく働き、生活していくためには日常の健康管理が大切です。診断の方はみなさん慣れてスムーズにすることができました。後日結果がわかりますが、それをもとに健康指導や日々の配慮を行ってきたいと思います。



作業所の仕事や生活

文書集配業務は熊本市に委託され平成 20 年度から区役所や各関係機関への文書を配達しています。その他、農耕、受託、リサイクル回収、缶つぶし、木竹工等の作業を行っています。

(熊本市文書集配業務)



(受託作業)

(農耕作業)



(リサイクル回収作業)



(空き缶つぶし作業)

(木竹工作業)



(いもほい)

(ハッサク狩り)

(商品販売)



(春の遠足:阿蘇くまもと空港)

(秋の遠足:動植物園)



(リフレッシュタイム)

(ひなん訓練)

